

シンポジウム

マンガ・アニメ・ゲーム 特撮の



ミュージアム 計画

2019年 **11月23日** (土・祝)

13:00 開始 (12:40 開場、18:00 終了)

会場： 明治大学 駿河台キャンパス
グローバルフロント1F 多目的室
(東京都千代田区神田駿河台1-1、JR御茶ノ水駅 徒歩3分)

- 登壇者： 氷川竜介 (明治大学 国際日本学研究所 特任教授)
(登壇順)
三好寛 (特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC) 事務局長)
辻壮一 (特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC) 研究員)
真住貴子 (国立新美術館 主任研究員・教育普及室長)
伊藤遊 (京都精華大学 国際マンガ研究センター/
京都国際マンガミュージアム 研究員)
今泉真緒 (株式会社ダズ 代表取締役/
立命館大学 衣笠総合研究機構 客員研究員)
藤本由香里 (明治大学 国際日本学部 教授)
宮本大人 (明治大学 国際日本学部 准教授)
中川大地 (『PLANETS』 副編集長 / 明治大学 野生の科学研究所 所員)
福地健太郎 (明治大学 総合数理学部 教授)

司会： 森川嘉一郎 (明治大学 国際日本学部 准教授)

お問合せ： 03-3296-4403

planning@mics.meiji.ac.jp (明治大学 教学企画事務局)

※事前登録は不要です。

入場
無料

主催： 明治大学

マンガ・アニメ・ゲーム・特撮のミュージアム計画

マンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示・保存・アーカイブ構築に関わる専門家を招き、拠点となるミュージアム施設の実施に向けたさまざまな角度からの検討を、公開の場で行います。アニメ特撮アーカイブ機構 (ATAC) による『機動戦士ガンダム』や『超時空要塞マクロス』の原画等資料の保存や活用の事例など、具体的な資料や課題にフォーカスした討議を展開します。

プログラム

13:00 開催挨拶

13:03 「マンガ・アニメ・ゲーム・特撮のミュージアム計画」

森川嘉一郎 (明治大学 国際日本学部 准教授)

13:20 「アニメ・特撮のアーカイブの意義と可能性 — アニメ特撮アーカイブ機構の取り組みと『機動戦士ガンダム』『超時空要塞マクロス』の資料活用事例」

氷川竜介 (明治大学 国際日本学研究科 特任教授)

三好寛 (特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構 (ATAC) 事務局長)

辻壮一 (特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構 (ATAC) 研究員)

14:30 小休憩

14:45 セッション1: 「マンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示の諸課題」

「国際展覧会のマネージメントと課題 — 国立新美術館と大英博物館の事例を中心に」

真住貴子 (国立新美術館 主任研究員・教育普及室長)

「日本の〈マンガ展〉の諸相 — 京都国際マンガミュージアムの事例を中心に」

伊藤遊 (京都精華大学 国際マンガ研究センター / 京都国際マンガミュージアム 研究員)

「3つのゲーム展の実務経験から」

今泉真緒 (株式会社ダズ 代表取締役 / 立命館大学 衣笠総合研究機構 客員研究員)

16:15 小休憩

16:30 セッション2: 「アーカイブ対象の範囲の諸課題」 (~ 18:00)

「日本マンガの翻訳版と海外マンガの収集可能性」

藤本由香里 (明治大学 国際日本学部 教授)

「“戦前の漫画”の区切り方: どこまでさかのぼるべきなのか」

宮本大人 (明治大学 国際日本学部 准教授)

「ゲームアーカイブの実践: ケーススタディ『ゲームシナリオアーカイブ』」

中川大地 (『PLANETS』副編集長 / 明治大学 野生の科学研究所 所員)

「SF資料の世界: 柴野拓美コレクションのケーススタディ」

福地健太郎 (明治大学 総合数理学部 教授)

(司会: 森川嘉一郎)

▶会場地図入り
ウェブサイト
QRコード

